

TSUTAYA online

クオリティとスピードを要求されるWebデザインに Adobe Illustrator 10を導入して取り組む、TSUTAYA online



株式会社ツタヤ オンライン

・全国1068店舗(2002年6月現在)を展開する「TSUTAYA」のFC本部CCCの子会社。国内最大級のエンターテインメント(映画、音楽、本、ゲーム等)ポータルサイト「TSUTAYA online」を運営。TSUTAYA店舗に対する販促活動事業、通信販売事業、携帯電話向け有料サービス事業を行うとともに、同サイトを活用した他企業向けの広告宣伝事業も行っている。「クリック&モルタル」戦略を日本でいち早く打ち出し、各方面から高い評価を得ている

<http://www.tsutaya.co.jp/>

最先端のオンラインストアだけでなく、既存の流通業においてもインターネットの活用が一般的になったことで、実際の店舗とネット上に存在するWebサイトとの連動が、これからの消費者をキャッチするために欠かせないものとして重要視されている。しかし、それらリアルな店舗とWeb情報を結びつけるために「クリックアンドモルタル」の手法を導入し、魅力的なサイトづくりを進め、成功を収めている企業はまだ少ない。TSUTAYA onlineはそんな数少ない企業のひとつであり、同社のWebサイトを制作する上で、Adobe Illustrator 10が大いに役立てられている。

コンテンツの充実が オンラインビジネスの成功には欠かせない

日本全国に1068店(2002年6月現在)もの店舗を持ち、ビデオ、DVD、CDなどの販売・レンタルを行っている「TSUTAYA」。TSUTAYA onlineでは、この巨大なショップネットワークをオンラインストア化し、店舗情報と連動したデータベースの提供や、最新商品のリリース情報やアーティスト情報などを満載した、毎週600万通ものメールマガジンを発行している。そこでは、ホームページやメールマガジンを見た消費者を、各地域の店舗に強力に誘導するとともに、来店客をTSUTAYA online上にも再誘導するといった、リアル店舗とインターネットの循環性を基本に据え、オンライン通販、Webコンテンツ、携帯電話向けコンテンツなどの充実が図られている。

またその活動は、単にリリース情報をタイムリーに届けるだけではなく、新作映画の公開に先立って、充実したオリジナルコンテンツを制作・提供するといった形でも展開。この夏劇場

公開される、話題の映画『ピンポン』の公式サイトもそのひとつで、配給会社との密接な関係によって進められたと、コンテンツ&コマースグループのプロデューサー柴崎栄太郎氏は答える。

Adobe Illustrator 10を駆使した、 話題の映画「ピンポン」公式サイト

「今回制作した映画『ピンポン』のサイトは、ほとんどのデザイン作業をIllustratorで作成しています」と語るのは、コンテンツ&コマースグループ・コンテンツ製作チームのディレクター後藤郡宏氏。

後藤氏の話によると、アイデアを考えるラフデザインの段階からIllustrator 10が使用され、最終的なデザインまで進められた。そしてIllustrator 10のWeb書き出し機能で作成したHTMLと、画像ファイルをもとに、Webオーサリングツールを使って文字情報やリンクを追加していったそうだ。

「動きのあるページは最終的にSWF形式になるのですが、まずIllustratorで写真の配置やロゴ、文字など大枠のデザインを決めておき、それから動きをつけるようにしています。いままで他のベクター系のソフトウェアもいろいろ使ってみたのですが、Illustratorは全ての機能が使いやすいと、他のソフトよりも優れていると思います」。「映画では5人のキャラクターがクローズアップされているのですが、それに伴いサイトでは、その5人の役者さんを1人ずつ交替わりで紹介するコーナーを用意おり、毎週更新という時間の限られた作業が発生しています。そのた



コンテンツ
&コマースグループ
マネージャー
藤原尚也氏



コンテンツ
&コマースグループ
ディレクター
後藤郡宏氏



コンテンツ
&コマースグループ
プロデューサー
柴崎栄太郎氏

めIllustratorを使い、5人のキャラクターをレイヤーに分けておいて、タイトル部分もシンボル化し、簡単にデザイン変更ができるようにしました。仕事が長引くと家に持って帰らなければならぬ時もあるので、シンボル化してあるとデータが軽くなって助かります(笑)。

Web機能の充実でさらに広がった Adobe Illustrator 10の使用範囲

さらに後藤氏は、以前からIllustratorは社内の各部署でも資料作成や、素材を作るツールとして使われていたが、バージョンアップにともないWeb機能が追加されていったことで、Webデザインの自由度が広がり、コンテンツ制作の現場でWebデザインのツールとして全般的に使われるようになったと語る。

「いままでもIllustrator 8や9を、Web用の素材やロゴ制作などのために使っていましたが、Web全体のデザインに用いるまでには至りませんでした。それがIllustrator 10になって、Web機能が大幅に増え、かなり驚きがありました」。特にスライス機能は、オブジェクトを移動すると、スライスも一緒に移動したり大きさが変化します。これは考えたな、と思いましたね。それに、人物の切り抜きに合わせてリンクを設定するイメージマップの作成も、Illustrator側にあらかじめパスがあるので楽にできますね。オーサリングツール上でイメージマップを作ろうとすると、ひとつひとつパスを作る必要があ



複雑な図形であっても、オブジェクトを選択してリンク先のURLを指定するだけで、パスに沿ったイメージマップが作成できる



HTMLバージョンでは、写真などのパーツごとにスライスを設定しHTML書き出し後、Webオーサリングツールで修正。またSWF形式への対応もIllustrator上で自由にレイアウトを行った後、別途オーサリングツールでアニメーション化を行っている

りますから。「これだけでひとつのWebが作れると思いました。Webのデザインをしながら、HTML言語を頭の中で考えなくても良くなるのでデザインに集中できますし、リンクの埋め込みもIllustratorだけで出来てしまうので、頭の中でイメージしたものをすぐデザインに反映させることができるのです」。

新しいWebデザインの可能性を秘める、 Adobe Illustrator 10

現在はまだ印刷の分野で使われることの多いIllustratorだが、バージョン10におけるWeb機能の充実やSWF形式への対応により、今後、Web制作ツールのスタンダードとしても確立されていくのではないかと、後藤氏は考えている。「Illustrator 10では、かゆいところに手が届くようになってきました。変形やエンベロープ機能も新しいデザインに取り入れてみたいし、TSUTAYA online自体がデータベースサイトなので、変数を使ったデータ駆動型グラフィックを活かした、データベース連動するようなページが作れるとおもしろいと思います。それにSVG形式のデータもプラグインが普及すれば、これ自体で動きのあるコンテンツが作れるようになる可能性がありますね」。

「今後、Illustrator側でカーソルに合わせて変化する、ロールオーバー機能があるといいですね。それがあれば、本当にIllustratorだけでWebページが作れてしまいます。あとSWF形式の書き出

しに、URLの埋め込みや、簡単なスクリプトの記述が出来るといいかもしれません」。

『ピンポン』のサイトに、今後はアクセスユーザが楽しめる、ゲームなどの遊びの要素も加えていきたいと話す後藤氏。そのコメントを受けコンテンツ&コマースグループ・マネージャー藤原尚也氏も、TSUTAYA onlineでは、ただオンライン通販ビジネスのみに終始するのではなく、本格的なエンターテインメントのポータルサイトとして、コンテンツの中身をより面白く、店舗とのリンクを考えながら実験的なコンテンツ開発を進めていきたいと語った。

そんな、今後のネットビジネスの可能性を押し広げる意味においても、Illustratorのさらなる進化は、新しいWebデザインの在りかたを創造していく、重要な機会を提供するだろう。

Adobe Illustratorの主な利点

- ・ 短時間で行うサイト更新作業に利用しやすい、Web書き出し機能
- ・ オブジェクト、グループ、レイヤーからスライスが作成でき、作成したスライスの大きさが、オブジェクトの移動に合わせて変化する
- ・ SWFツールとの親和性が高く、描画能力に長けている
- ・ シンボルを作成することでファイルサイズを小さく抑え、修正が容易。繰り返し使用されるグラフィックもより効率的に管理できる
- ・ URLの埋め込みやイメージマップの作成がIllustrator上で行える